

大人も絵本。

子どものころ、家で、学校で、図書館で、絵本を愉しんだ経験がある方は多いのではないのでしょうか。あの時感じたワクワクやドキドキをもう一度体験してみませんか？そして絵本の中には、大人だからこそ味わえる、大人に向けて描かれたものも実はたくさんあります。子どものもの、とっていてはもったいない！何度でも読み返したくなる大人の心に響く絵本の魅力を紹介します。

文章の妙を味わう

字数の少ない絵本だからこそ、文章や翻訳にはセンスが求められます。短い中にも味わいがぎゅっと詰まった、名文ぞろいの絵本をご紹介します。

- 急行「北極号」
C.V.オールズバーグ／絵と文
村上春樹／訳 あすなろ書房



深い悲しみと つき合うために

大切ななにかをなくした時、いわれない悲しみにおそわれた時、そっと寄り添ってくれる絵本。

- 悲しい本
マイケル・ローゼン／作 ケンティン・ブレイク／絵
谷川俊太郎／訳 あかね書房

- くまとやまねこ
湯本香樹実／文 酒井駒子／絵
河出書房新社



この怖さ…大人向きです

いずれも名だたる作家の手による、怪談えほんのシリーズ。大人にもぜひ味わってほしい怖さです。(シリーズ既刊:2期9冊)

- 悪い本 怪談えほん 1
宮部みゆき／作 吉田尚令／絵 東雅夫／編 岩崎書店

なんと珍妙な…！

ある日突然やってきた、招かれざる客。マフラーを巻きスニーカーを履いた奇妙な生き物はいつまでたっても帰らない…柴田元幸の名訳で味わう不条理な世界。

- うろんな客
エドワード・ゴーリー／著 柴田元幸／訳 河出書房新社

